

プロジェクト概要	クレジットカード等による交通決済を可能にするキャッシュレスソリューション「stera transit」と、その基盤を活用したMaaSアプリ「Pass Case」を導入することで室蘭市・登別市を主とした地域交通における来街者受け入れ環境整備を図ることに加えて、観光アクティビティと連携したチケット造成によるシームレスな移動とコンテンツの連携による周遊・消費促進を目指す		
課題	- 観光利用も多くある胆振地域においてタクシーはキャッシュレス化が実装済みだがバスは現金精算が主であり、キャッシュレス決済未対応による乗降時間の増加や遅延等のオーバーツーリズムが課題である - 観光利用者の利用実態やユーザ属性等を捉えることができず、需要に対する運行計画の策定やMaaSチケットの造成に苦慮している		
取組内容	交通事業者	バス：道南バス タクシー：金星ハイヤー（GOアプリ対応）、室蘭ハイヤー	
	MaaSアプリ等	stera transit SMCC MaaSアプリ『Pass Case』	
	データの活用等	- データの取得方法：stera transit、Custella transit、JCB Date Driver - データの活用方法：乗降ODデータならびにユーザ属性から、観光需要への運行体制構築に活用	
	座組	スケジュール	
取組内容	【交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)】 - 室蘭市・登別市を主とした胆振振興局管内の路線バスにstera transitを導入し、タクシー含めたキャッシュレス化の促進による観光利用者の利便性向上を目指す - バス、タクシーをセットにしたMaaSチケットを造成し、二次交通におけるシームレスな移動を実現する。(クレジットカード等のタッチ決済を活用したMaaSチケット) 【モビリティ・データの取得と活用】 - タッチ決済による交通利用と消費、観光活動等をキャッシュレスデータから分析(SMCCから道南バスに提供し、今後の観光客の公共交通利用施策への活用を想定) - エリア周遊ならびに消費活性化を目的とした企画券等の新規施策検討への活用 【エンドコンテンツとの連携】 観光施設や飲食店等の商業サービスと連携したMaaSチケットを造成・予約・購入できる仕組みを導入。認証媒体はタッチ決済機能付きのクレジットカード等を活用するためインバウンド旅客も自国で発行したクレジットカード等で利用することが可能 - 室蘭エリアではイルカウォッチングやナイトクルーズのアクティビティ割引等による、広域的な回遊体験の提供による観光消費の拡大を図る - 登別エリアでは、ナイトアドベンチャーや地獄谷ウォーキングを盛り込んだフリーパスチケットをアプリ内で提供し、周遊・滞在・消費等の促進、満足度向上につなげる 【協業化・共通化・標準化】 - クレジットカード等による交通決済を可能にする共通基盤をベースにしたMaaSプラットフォームを活用することで、世界中で発行されたクレジットカード等でのチケット認証を実現する。		
効果	- 観光およびビジネスユーズと市民利用の両面において公共交通の利便性向上 - バスでの現金および紙乗車券精算割合(R6)42%→(実証期間)15%を目指す - デジタル企画券によるタクシーの観光利用および観光アクティビティの消費拡大		
事業の新規性	グローバルスタンダードであるタッチ決済機能やタッチ決済を活用したMaaSチケットによるシームレスな移動や施設利用体験の提供(民間事業者保有のモビリティデータ連携基盤を活用)		

実施団体

統括・路線バス運行

道南バス

システム・アプリ提供
データ分析・PR等

三井住友カード

データ分析・PR

JCB

端末開発・設置

北海道アトラス

小田原機器

認証クラウド提供

QUADRAC

事業サポート

室蘭市

タクシー運行

金星ハイヤー

室蘭ハイヤー

エンドコンテンツ提供

スターマリン

4～5月	システム・コンテンツ要件の検討
6～9月	システム開発・車載・試験運用
10月～	実証運行
2月	効果測定 (10月～1月のデータを分析)